

⑭ どんぐりの 円盤ゴマ

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・身近なもので、自分で遊び道具を作り楽しむ経験をする。
- ・回転体はいかにバランスをとることが重要であるかを、身の回りのものと比較してみる。

2 実施時期：9月～1月

3 実施場所：室内

4 対象学年：低学年向き

5 関連教科：図工、生活科、総合

6 時数：1時限

7 事前準備

- (1) 学校：厚紙にφ60mm～φ100mmの円を描き、中心に10mm幅の十文字の切込みを入れておく。児童の数だけ用意する。
＜どんぐりコマ＞

- (2) どんぐりクラブ：どんぐりに爪楊枝が差し込める穴をあける。

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：厚紙で作った円、爪楊枝、ハサミ、ポスカ（クレヨン）

どんぐりクラブ：穴をあけたどんぐり、グルーガンとホットボンド、ポスカ、コマのサンプル

(2) 授業の流れ

① あいさつ

② どんぐりの話

③ サンプル（よく回るコマ、回らないコマ）を提示

④ 作り方の説明

- ・材料の点検
- ・注意事項

⑤ 作業

- ・厚紙から円盤を切り抜く。
- ・厚紙の円盤の上に色をぬる。
- ・どんぐりに爪楊枝をさす（うまく付かないときはグルーガンでつける）。
- ・どんぐりコマを円盤の切り込みに差し込む（うまく付かないときはグルーガンでつける）。

>

⑥ 各自で回しながら、コマを調整する。

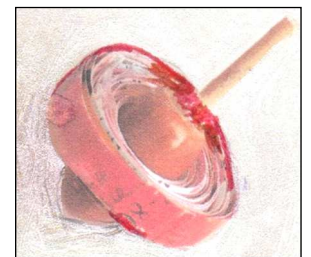
⑦ 終わりのあいさつ

9 備考

- ・どんぐり単体では完全にバランスが取れていないと回らないが、円盤コマは時間差があるものの皆回る。
- ・円盤上の色の組み合わせによって、絵の具を混ぜ合わせた色が再現できる。
- ・どんぐりに紙（6mm幅）を巻くとバランスがとれて、非常に良く回るので試してみよう。



＜円盤つきコマ＞



＜紙を巻いたコマ＞